



生徒が主役 海青

2026年4月28日

学校便り No.5

文責：校長 渡辺 景輔

唐津市鎮西町横竹838番地9

【学校教育目標】

夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成 ～生徒が主役の学校に～

今年度変更しました

ゴールデンウィークを迎えるにあたって・・・

新年度が始まり、子どもたちは新しいクラスや新しい友人との出会いの中で学校生活を送っています。期待に胸をふくらませる一方で、環境の変化に緊張や不安を抱えることもある時期です。そんな中で迎えるゴールデンウィークは、子どもたちにとって心と体を整える大切な期間となります。

連休中は、どうしても生活のリズムが乱れやすくなります。朝、遅く起きたり、夜更かしが続くと、休み明けに「何となく体が重い」「気持ちが切り替わらない」といった影響が出る場合があります。無理のない範囲で構いませんので、普段に近い生活リズムを意識していただくと、子どもたちがスムーズに学校生活へ戻る助けになります。

また、普段忙しい子どもたちが、家族との時間や好きなことに取り組む時間など、心がほぐれる過ごし方ができると、連休明けの活力にもつながります。

新しい環境で頑張っている子どもたちが、この連休を通して心身ともにリフレッシュし、また元気に学校生活を送れるよう願っています。ご家庭でも子どもたちの様子に目を向けていただきながら連休をお過ごしいただければと思っています。



5月3日は「憲法記念日」です・・・ご家庭でも話題にしていただければ・・・

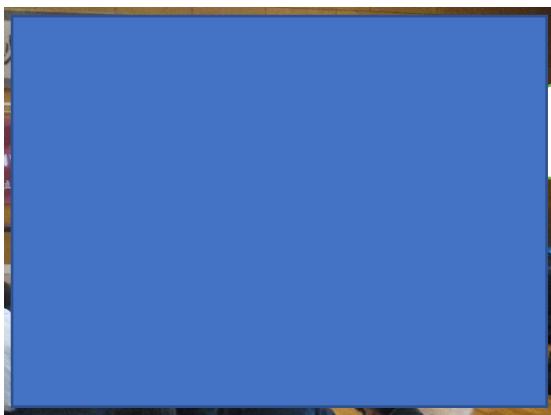
日本国憲法が施行された日は、私たちの暮らしの土台となる大切な日です。憲法には、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」という三つの基本原理があり、小学校に続いて中学校でも学習します。これらの原理には、国の仕組みだけでなく、一人ひとりが安心して学び、成長できる社会をつくるための理念が込められています。

その中でも「基本的人権の尊重」は、すべての人がかけがえのない存在であるという考え方です。これは、私たちの学校生活にも深くかかわっています。例えば、授業中に互いの意見を尊重し、安心して発言できる雰囲気をつくること。休み時間に友達の気持ちを思いやり、困っている人に声をかけること。部活動で仲間と協力し、互いの努力を認め合うこと。これらはすべて、憲法が大切にしている「人を尊重する」という理念を、皆さんが日々実践していることです。

また、みなさんには「学ぶ権利」があります。授業に集中できる環境をつくること。ルールを守って学校生活を送ることは、自分の権利を守るだけでなく、周りの人の権利を守ることもつながります。自由には責任が伴うという考え方も、憲法が示す大切な視点です。

皆さんには、これからも自分を大切に、同じように周りの人も大切にできる人になってほしいと思います。憲法記念日が、みなさんの学びと更なる成長につながることを願っています。

佐賀県遺族会「平和の語り部」講演会



佐賀市在住 ^{やました かずお} 山下 一夫 様

昭和19年現在の中国(満州)で生まれる。父は大連で商社に勤務していたが、戦況が悪化し、昭和20年7月31日に招集され戦死、母と共に、昭和23年3月に大連から佐世保に引き上げ、母の実家である佐賀郡川上村に住むこととなった。元佐賀県立唐津東高等学校校長、元龍谷高等学校・中学校校長等

4月24日(金)、3年生は修学旅行に向けた平和学習の一環として、佐賀県遺族会「平和の語り部」である山下 一夫様をお招きし、お話を伺いました。戦後81年が経ち、戦争体験者の高齢化が進む中、戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを考え続けていくことの大切さを改めて感じる機会となりました。山下様からは、「戦争がどのようなものか、事実を知ってほしい」という強い思いが伝わってきました。生徒たちも真剣に耳を傾け、戦争の悲惨さや平和のありがたさについて深く考える姿が見られました。

世界では、今もなお戦争や紛争が続いている国や地域があります。私たちは、当たり前のように平和な日常を過ごしているからこそ、平和について考える機会が少なくなりがちです。このような学びの機会を通して、生徒たちが「平和とは何か」を自分自身の問題として捉え、より深く考えてほしいと思います。

[研修先]

3年生 修学旅行	1日目：広島(平和記念公園・宮島・厳島神社) 2日目：下関(自主研修) 3日目：熊本(グリーンランド)
2年生 バス研修	大刀洗フィールドワーク、大刀洗平和記念館、太宰府天満宮・周辺散策
1年生 バス研修	海の中道マリンワールド、福岡市博物館・周辺散策

第11回九州中学選抜卓球大会出場!

4月18日(土)・19日(日)に熊本県で開催された「第11回九州中学選抜卓球大会」に、本校卓球部が出場しました。大会前日には、卓球部の生徒たちが校長室を訪れ、一人ひとりが大会に向けた目標や決意を話してくれました。

子どもたちは、「学校の代表、佐賀県の代表としての自覚をもって試合に臨みたい」「試合以外の場面でも海青中の生徒として恥ずかしくない行動をしたい」などと語り、競技力だけでなく、日頃の生活態度や責任感を大切にする姿勢が伝わってきました。

大会出場を支えてくださった保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、大会を通して得た経験を、今後の学校生活や部活動に生かしてくれることを期待しています。

4月17日(金) 出発のようす

